

地域女性活躍推進交付金 精算書

市町村等の名称: 広島県三原市

(単位:円)

区分	総事業費 (A)	寄付金その他の収入額 (B)	差引額 (C=A-B)	基準額 (D)	交付金算定基礎額 (E)	交付金所要額 (F)	交付金交付決定額 (G)	交付金受入済額 (H)	交付金額 (I)	精算額 (J=I-H)	備 考
①令和4年度予算(予備費)											
②令和4年度補正予算	3,859,962		3,859,962	5,000,000	3,859,962	1,929,000	2,335,000		1,929,000	1,929,000	
③令和5年度当初予算	2,076,800		2,076,800	5,000,000	2,076,800	1,557,000	1,560,000		1,557,000	1,557,000	
合 計	5,936,762		5,936,762	10,000,000	5,936,762	3,486,000	3,895,000		3,486,000	3,486,000	

- (注) 1 B欄には、交付要綱第3にいう寄付金その他の収入額を記入すること。
- 2 D欄には、交付要綱第3に定める基準額を記入すること。
- 3 E欄には、C欄及びD欄を比較して最も少ない金額を記入すること。ただし、種別が異なるものがある場合、それぞれC欄相当額とD欄相当額を比較して最も少ない金額の方を足し上げた額を記入。
(例:最も少ない金額の方が、寄り添い:16,000,000円、つながり:5,000,000円の場合、E欄には21,000,000と記入。)
- 4 F欄には、E欄の金額に補助率を乗じた額を記入すること。ただし、1,000円未満の端数が生じた場合は、これを切り捨てるものとする。なお、種別が異なるものがある場合、種別ごとに出したE欄相当額に補助率を乗じた額を足し上げた額を記入。(例:寄り添いE欄16,000,000→8,000,000、つながりE欄5,000,000→3,750,000 ⇒11,750,000と記入。)
- 5 I欄には、F欄及びG欄を比較して少ない金額を記入すること。

地域女性活躍推進交付金実績報告書(市町村分)

市町村名:広島県三原市

1. 事業名	女性活躍支援事業
2. 実施期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日
3. 事業の趣旨・目的	○就労に意欲ある子育て期等の女性の就労実現を目的とし、仕事と子育ての二者択一を迫られることなく、子育ても大切にしながら仕事でも意欲と責任をもって働く視点を学ぶ機会を提供し、就労の後押しをする。加えて、就労実現の具体的な仕掛けとして、そうした女性と市内企業との出会いの場を創出する。 ○市内企業に対し、旧来の組織体制や業務分担、労働環境の固定概念を取り払い、誰にとっても働きやすい職場環境整備の推進を図るため、経営者、管理職及び従業員を対象とした啓発を行う。また、啓発が一過性のものとならないように、具体的な行動計画策定（女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画等）の支援を行う。 ○時間的制約がある子育て期等の女性に対し、働き方の可能性を広げることを目的とし、テレワークスキル習得の講座を実施する。加えて、身に着けたテレワークスキルを活かすことができるよう、就労機会の提供においても支援を行う。
4. 事業内容	①女性就労支援事業 以下3点を連続性のある取り組みとして実施した。 〔1〕女性就労ワークスクール（連続5回）〔拡充〕 主に子育て期等にある就労を希望する女性を対象に、専門講師によるワークスクールを開催した。 子育て等との両立やブランク等に対する不安を解消し、就労に対するマインドセットの変化を起こす内容とした。 また、スクール参加者の個別相談に寄り添うコンシェルジュを置き、細やかな伴走支援も行った。 〔連携〕三原公共職業安定所との連携により、女性求職者への周知を強化した。 〔連携〕市と㈱まちづくり三原で開催する「スタートアップ創出シディカレッジ」を紹介し、創業・起業に関する女性の意識醸成を図った。 〔2〕企業向け女性活躍推進セミナー（同内容を2回）〔継続〕 市内企業を対象に、専門講師によるセミナーを開催した。テレワーク推進等を含む女性活躍のための企業側の環境整備のポイントを理解する内容とした。 〔連携〕三原商工会議所・三原臨空商工会・三原公共職業安定所等の団体と連携し、市内企業の積極的参加を呼びかけた。 〔3〕就労マッチングイベントの開催〔拡充〕 主に上記〔1〕〔2〕の参加者を想定し、市内の就労を希望する女性と市内企業との就労に関するマッチングイベントを開催した。企業の一方的な説明にならないよう、双方向にコミュニケーションを取ることを主眼としたイベントとするべく、前年度と比較して演出を強化し、参加した女性及び企業に対して強いインパクトを与えることで、より就労に対しての意欲が高まる内容とした。 〔連携〕三原商工会議所・三原臨空商工会・三原公共職業安定所等の団体と連携し、市内企業の積極的参加を呼びかけた。 〔4〕就労に関するイベントや相談会を実施するスペースの整備〔新規〕 主に子育て期等にある就労を希望する女性が利用できる、就労に関するイベントや相談会を実施するスペースを市役所内に整備した。①-〔1〕〔2〕、③の実施も当該スペースを会場として使用した。 ※〔1〕〔3〕〔4〕の対象は、主に子育て期の女性を想定するものであり、限定をするものではない。 （広く女性の参加を受け付けた。） ②女性活躍推進アドバイザー派遣事業〔継続〕 主に上記〔2〕に参加した企業が、「女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画」の策定に着手する場合、広島県の認定女性活躍推進アドバイザーを派遣することにより、策定に向けた伴走型の支援を行った。 対象は策定努力義務（常時雇用労者数101人未満）の事業所とした。 〔連携〕三原商工会議所・三原臨空商工会・三原公共職業安定所・広島県等と連携し、市内事業所の積極的 制度活用を呼びかけた。 ※対象は事業の連続性を考慮し、主に①-〔2〕の参加企業を想定するが、限定をするものではない。 （広く受け付けた。） ③女性デジタル人材育成事業〔新規〕 主に子育て期等にある就労を希望する女性を対象に、専門講師による「テレワークスキルアップ講座」を開催した。オンラインで働くための基礎知識や、実務で使用するデジタルツールの操作スキルを学ぶ内容とした。 また、当該専門講師のネットワーク等により、就労の機会の提供まで一体となった支援を行った。 〔連携〕三原公共職業安定所との連携により、女性求職者への周知を強化した。 ※対象は、主に子育て期の女性を想定するものであり、限定をするものではない。

5. 事業効果及び効果検証の概要	①女性就労支援事業 [実績] (1) 女性就労ワークスクール(連続5回) ・参加女性22人 (2) 企業向け企業向け女性活躍推進セミナー(同内容を2回) ・参加企業19社 (3) 就労マッチングイベントの開催 ・参加女性18人(全て(1)の参加者)、参加企業数18社(うち(2)の参加企業7社) (4) 就労に関するイベントや相談会を実施するスペースの整備 ・スペースを整備しイベント(講座)及び相談会を合計23回実施 [効果] 本事業をきっかけに11人の女性が就労を実現した。 ②女性活躍推進アドバイザー派遣事業 [実績] ・派遣社数2社 [効果] ・2社が女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を策定(予定含む)した。 ③女性デジタル人材育成事業 [実績] ・参加女性38人 [効果] ・本事業の参加者のうち、希望した9人に専門講師のネットワークによる就労機会の提供を行った。
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	①女性就労支援事業 [目標値] 事業に参加した女性の就職人数 10人 [実績] 11人 昨年度の課題を踏まえ、講座回数、就労マッチングイベント内容の見直しなどのブラッシュアップを行ったことで就労ワークスクールから就労マッチングイベントへの参加誘導率が飛躍的に向上し、目標値を達成することができた。本事業の参加者の多くがハローワーク等で自発的な求職活動をしていない層であり、潜在的な就労ニーズへのプッシュ型の支援は有効であったと考える。 ②女性活躍推進アドバイザー派遣事業 [目標値] 一般事業主行動計画(女性活躍)の市内策定事業者数の増加 18社(R2年度比較8社増) [実績] 35社 ※他に1社が令和6年4月に策定予定 改正女性活躍推進法の施行に伴い、一般事業主行動計画の策定義務が拡大されたことにより当初の予定から大幅に達成した。こういった状況の中で策定努力義務企業(常時雇用労働者数101人未満)2社対して支援を行った。このうち、1社が女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を策定し、もう1社は会社都合により行動計画の策定に遅れが生じたが、令和6年4月中の計画策定を予定している。 ③女性デジタル人材育成事業 [事業に参加した女性の就職人数] 23人 [実績] 9人 目標値には到達しなかったが、9人の女性が就労を実現した。本事業のスキームはテレワークスキルを学ぶ講座を受講後に、希望者に対して専門講師のネットワークにより就労機会の提供を一体的に行うものであったが、希望した9名全てに就労機会の提供を行うことができた。
7. 今後の課題	①女性就労支援事業 目標値を達成することができたため、一定の成果を挙げることができたと考える。今後も事業を継続する中で、より高い女性の就職率を達成できるよう、子育て期等の実情に合った求人開拓及び市内企業の理解を促していく必要がある。 ②女性活躍推進アドバイザー派遣事業 ①-(2) 企業向け女性活躍推進セミナー参加企業を中心に呼びかけを行ったが、「重要性は理解しているが人手が不足して取り組む余地がない」との意見が多く聞かれた。当市が独自に実施した市内企業へのアンケートでは、中小企業や小規模事業所の多くが新規採用等に非常に苦勞している実情があることから、関係団体と協力し、「女性が働きやすい環境づくり」は勿論のこと「人手不足解消に向けた経営改善」等の観点からも営業活動を推進することで本事業の周知に努めたい。 ③女性デジタル人材育成事業 本事業では希望者に対して専門講師のネットワークにより就労機会の提供を行うことが可能にも関わらず目標値を達成することができなかった。就労機会の提供を望まない理由として「自らのPCスキルが不足しているため」、「今の生活と両立できるか不安だから」、「どんな仕事があるか分からないから」が大半を占めた。このため、座学のみにとどまらず、実際にテレワークで働いている先輩女性の話を聞いたり、質問できる体制を講座内に整えることで、不安を払拭し、就労に対して前向きになれるような支援策を検討していきたい。
8. 事業の実施体制	Jデスクみはら(三原市労働力導入促進総合企画会議) ○三原市…事業実施における推進主体 ○三原商工会議所、三原臨空商工会…市内企業への周知、職場環境整備における助言、事業の呼びかけ。 ○三原公共職業安定所…女性就労希望者への周知、市内企業への子育て応援求人への拡充等の呼びかけ。

9. 経費の内訳 (単位:円)									
事業 番号	個別事業名	公募要領の 取組例	予算措置年 度	交付決定事業	総事業費 (A=B+C+D)	本交付金 (B)	他の寄付金等 (C)	自己資金 (D)	備 考
①	女性就労支援事業	2(1)	4年度補正予 算	4年度補正予 算	3,459,962	1,729,000		1,730,962	
②	女性活躍推進アドバイザー派遣事業	2(1)	4年度補正予 算	4年度補正予 算	400,000	200,000		200,000	
③	女性デジタル人材育成事業	4(3)	5年度当初予 算	5年度当初予 算	2,076,800	1,557,000		519,800	
					0				
	合 計				5,936,762	3,486,000	0	2,450,762	
10. 担当者名及び連絡先		所属部署:経済部 商工振興課 氏名:主任 三上武晃 電話番号:0848-67-6013 電子メールアドレス:shoko@city.mihara.hiroshima.jp							
11. 事業実施及び連携工程		様式4-2-1に記載							

注1)「9. 経費の内訳」の「事業番号」及び「個別事業名」は、様式4-2-2と整合性をとって記載してください。

注2)「9. 経費の内訳」の「公募要領の取組例」は、公募要領第2【取組例】(1)～(5)、第4【取組例】(1)～(3)、第5【取組例】(1)～(9)、第6又は第7【取組例】(1)・(2)から選択してください。

注3)「9. 経費の内訳」の「予算措置年度」は、実施主体における予算措置状況について「4年度当初予算」、「4年度補正予算」、「5年度当初予算」、「5年度補正予算」のいずれかを記載してください。

注4)「9. 経費の内訳」の「交付決定事業」について、「4年度予算(予備費)」、「4年度補正予算」、「5年度当初予算」のいずれかを記載してください。

注5)「9. 経費の内訳」において「他の寄付金等」がある場合は、備考欄に内容が分かるよう記載してください。

注6)本様式はA4で3枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。

事業実施及び連携工程表

市町村名:広島県三原市

1. 事業実施工程表

事業 番号	個別事業名	実施内容	事業目標(アウトプット・ アウトカム)	実施時期											
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
① (1)	女性就労支援事業	女性就労ワークスクール	アウトプット				● 第1回目		● 第2回目 ～4回目	● 第5回目					
① (2)		企業向け女性活躍推進 セミナー	アウトプット					● 第1回目	● 第2回目						
① (3)		就労マッチングイベント	アウトカム							●					
① (4)		就労に関するイベントや 相談会を実施するスケー プの整備	アウトプット	← 環境整備 →			● (セミナー・ 相談会等)	● (セミナー・ 相談会等)	● (セミナー・ 相談会等)	● (セミナー・ 相談会等)	● (セミナー・ 相談会等)	● (セミナー・ 相談会等)	● (セミナー・ 相談会等)	● (セミナー・ 相談会等)	● (セミナー・ 相談会等)
②	女性活躍推進アドバイザー 派遣事業	女性活躍推進法に基づく 一般事業主行動計画策 定等の策定支援	アウトプット		← 随時(6社を想定) → 2社申込み				● 訪問実施	● 訪問実施	● 訪問実施	● 訪問実施	● 訪問実施	● 訪問実施	● 訪問実施
③	女性デジタル人材育成事業	テレワークスキルアップ講 座	アウトプット								● コース ①・②開講	● コース ②開講	● コース ③開講	● コース ④開講	

2. 連携工程表

事業 番号	事業・取組名 (実施主体)	事業・取組内容	交付金事業との連携内 容	交付金事業との連携											
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
① (1)	女性求職者への周知強化 (三原公共職業安定所)	女性求職者への周知を 強化する。	①-(1)の参加女性の増 加	●	●	●									
① (1)	・創業トークセミナーの紹介 (三原市起業化促進連携協議会) ・みはら創業マルシェの紹介 (棚まちづくり三原)	創業・起業についての可 能性も啓発する。	①-(1)の参加者に紹介				● 創業・起 業講座を 案内								
① (2) (3)	市内企業・事業所への積極的 参加呼びかけ (三原商工会議所・臨空商工 会・公共職業安定所)	市内企業・事業所へ積極 的な参加呼びかけを行 う。	①-(2)(3)の参加事業 者の増加		●	●	●	●	●	●					
②	市内企業・事業所への積極的 制度活用呼びかけ (三原商工会議所・臨空商工 会・公共職業安定所・広島県)	市内企業・事業所へ積極 的な制度活用呼びかけを行 う。	②の制度活用事業者の 増加		← →										
③	・女性求職者への周知強化 (三原公共職業安定所) ・創業及び起業希望者への周 知強化 (棚まちづくり三原)	女性求職者及び創業・起 業希望者への周知を強 化する。	③の参加女性の増加						●	●					

※2. 連携工程表には、交付金事業と連携する同一団体内で行われる事業・取組(他の国の交付金等を利用する場合は明記)、他の連携主体(協議会を構成する民間団体等)や他の地方公共団体の事業・取組を記載してください。
※適宜、行を追加してください。

地域女性活躍推進交付金実績報告書(市町村分) 個別事業

市町村名:広島県三原市

事業番号	①						
1. 個別事業名	女性就労支援事業						
2. 実施期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日						
3. 総事業費	3,459,962円						
4. 事業内容	(1) 女性就労ワークスクール(連続5回) 主に子育て期にある就労を希望する女性を対象に、専門講師によるワークスクールを開催した。子育てでも大切にしながら仕事でも意欲と責任をもって働く視点を養い、就労に具体的な一歩を踏み出す後押しになる内容とした。 ○スクールの内容 ・第1回 ママのためのキャリアセミナー(7月5日) 子育て期における就労ブランクや時間的制約があっても、仕事にチャレンジできることを知り、自分の強みを再確認した。 ・第2回 ブランディング講座(9月4日) 自身の価値や強みを伝えるために必要な自己PRスキルを身に付け、今後の面接にも対応できる内容とした。 ・第3回 ITスキルアップ講座(9月15日) 現在のビジネスシーンで求められるITリテラシー(officeソフトやグループウェア等のツール活用方法)を学んだ。また、基本的なパソコン操作も実際に使いながら確認をした。 ・第4回 テレワーク入門講座(9月21日) テレワークで働く基礎作りを学ぶことに加え、実際に収入を得ることのできる仕事情報等を紹介し、多様な働き方を知るきっかけ作りを行った。 ・第5回 わたし磨き講座(10月3日) 主にビジネスシーンにおける身だしなみの確認や、好印象を与える簡易なパーソナルカラー診断等を行い、就労マッチングイベント等で実践できる内容とした。 ※全回を通じて、子育て期以外の女性も参加可とした。 ※年間を通じて、ライフワークコンシェルジュによる伴走支援を行った。 (2) 企業向け女性活躍推進セミナー(8月30日、9月12日) 市内企業を対象に、専門講師によるセミナーを開催した。女性活躍のための企業側の環境整備のポイントを理解する内容とした。また、参加企業同士のグループワークなどの交流も行った。 (3) 就労マッチングイベントの開催(10月12日) 主に上記(1)(2)の参加者を想定し、市内の就労を希望する女性と市内企業との企業説明・相談会を開催した。企業の一方向的な説明にならないよう、双方向にコミュニケーションを取ることを主眼としたイベントとすべく、前年度と比較して演出を強化し、参加した女性及び企業に対して強いインパクトを与えることで、より就労に対する意欲が高まる内容とした。 (4) 就労に関するイベントや相談会を実施するスペースの整備 主に子育て期等にある就労を希望する女性が利用できる、就労に関するイベントや相談会を実施するスペースを市役所内に整備した。(1)(2)の実施も当該スペースを会場として使用した。						
	<table border="1"> <tr> <td>・経済団体、関係団体など官民連携の考え及び具体的な連携主体・連携方法</td> <td>○市と㈱まちづくり三原で開催する「スタートアップ創出シティカレッジ」を紹介し、創業・起業に関する女性の意識醸成を図った。 ○商工会議所等の市内商工団体と連携し、セミナー及び就労マッチングイベントへの積極的な参加を呼びかけた。 ○三原公共職業安定所と連携し、市内企業に子育て応援求人制度周知及び就労マッチングイベントへの参加企業を開拓した。</td> </tr> <tr> <td>・連携地方公共団体及び具体的な連携方法</td> <td>○広島県の雇用担当課へ当該事業の案内を行い、女性活躍における先進的な事例、イベント情報等に関する周知を適宜行った。</td> </tr> <tr> <td>・交付金事業間連携、他施策との連携</td> <td>○事業番号①-(2)企業向け女性活躍推進セミナーと、事業番号②の女性活躍推進アドバイザー派遣の事業の連続性をPRし、行動計画策定着手に繋げた。</td> </tr> </table>	・経済団体、関係団体など官民連携の考え及び具体的な連携主体・連携方法	○市と㈱まちづくり三原で開催する「スタートアップ創出シティカレッジ」を紹介し、創業・起業に関する女性の意識醸成を図った。 ○商工会議所等の市内商工団体と連携し、セミナー及び就労マッチングイベントへの積極的な参加を呼びかけた。 ○三原公共職業安定所と連携し、市内企業に子育て応援求人制度周知及び就労マッチングイベントへの参加企業を開拓した。	・連携地方公共団体及び具体的な連携方法	○広島県の雇用担当課へ当該事業の案内を行い、女性活躍における先進的な事例、イベント情報等に関する周知を適宜行った。	・交付金事業間連携、他施策との連携	○事業番号①-(2)企業向け女性活躍推進セミナーと、事業番号②の女性活躍推進アドバイザー派遣の事業の連続性をPRし、行動計画策定着手に繋げた。
・経済団体、関係団体など官民連携の考え及び具体的な連携主体・連携方法	○市と㈱まちづくり三原で開催する「スタートアップ創出シティカレッジ」を紹介し、創業・起業に関する女性の意識醸成を図った。 ○商工会議所等の市内商工団体と連携し、セミナー及び就労マッチングイベントへの積極的な参加を呼びかけた。 ○三原公共職業安定所と連携し、市内企業に子育て応援求人制度周知及び就労マッチングイベントへの参加企業を開拓した。						
・連携地方公共団体及び具体的な連携方法	○広島県の雇用担当課へ当該事業の案内を行い、女性活躍における先進的な事例、イベント情報等に関する周知を適宜行った。						
・交付金事業間連携、他施策との連携	○事業番号①-(2)企業向け女性活躍推進セミナーと、事業番号②の女性活躍推進アドバイザー派遣の事業の連続性をPRし、行動計画策定着手に繋げた。						
5. 事業効果及び効果検証の概要	[実績] (1) 女性就労ワークスクール(連続5回) ・参加女性 22人 (2) 企業向け女性活躍推進セミナー(同内容を2回) ・参加企業数 19社 (3) 就労マッチングイベントの開催 ・参加女性 18人(全て(1)の参加者) 参加企業数 18社(うち(2)の参加企業7社) [効果] 就労ワークスクール参加をきっかけに11人の女性が就労を実現した。						
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	昨年度の課題を踏まえ、講座回数、就労マッチングイベント内容の見直しなどのブラッシュアップを行ったことで就労ワークスクールから就労マッチングイベントへの参加誘導率が飛躍的に向上し、目標値を達成することができた。本事業の参加者の多くがハローワーク等で自発的な求職活動をしていない層であり、潜在的な就労ニーズへのブッシュ型の支援は有効であったと考える。						
7. 今後の課題	目標値を達成することができたため、一定の成果を挙げることができたと思う。今後も事業を継続する中で、より高い女性の就職率を達成できるよう、子育て期等の実情に合った求人開拓及び市内企業の理解を促していく必要がある。						

注1)「3. 総事業費」の内容については、別途、単価、員数、日数等が分かる積算資料を添付してください。

注2) 本様式はA4で2枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。

地域女性活躍推進交付金実績報告書(市町村分) 個別事業

市町村名:広島県三原市

事業番号	②						
1. 個別事業名	女性活躍推進アドバイザー派遣事業						
2. 実施期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日						
3. 総事業費	400,000円						
4. 事業内容	主に事業番号①-(2)企業向け女性活躍推進セミナーに参加した企業が「女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画」の策定に着手する場合、広島県と連携し、県の認定女性活躍推進アドバイザーを派遣することにより、策定に向けた伴走型の支援を行った。 <table border="1"> <tr> <td>・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法</td> <td> ○前年度に当該事業を活用した行動計画の策定事例を紹介し、対象事業者の取り組みへの気運を高めた。 ○三原商工会議所、三原臨空商工会、広島県等と連携し、市内企業の積極的参加の呼びかけを行った。 </td> </tr> <tr> <td>・連携地方公共団体及び具体的な連携方法</td> <td>○広島県が認定・紹介する「広島県女性活躍推進アドバイザー」へ講師を依頼した。(2名)</td> </tr> <tr> <td>・交付金事業間連携、他施策との連携</td> <td>○事業番号①-(2)企業向け女性活躍推進セミナーと当該事業の連続性をPRし、行動計画策定の着手に繋げた。</td> </tr> </table>	・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法	○前年度に当該事業を活用した行動計画の策定事例を紹介し、対象事業者の取り組みへの気運を高めた。 ○三原商工会議所、三原臨空商工会、広島県等と連携し、市内企業の積極的参加の呼びかけを行った。	・連携地方公共団体及び具体的な連携方法	○広島県が認定・紹介する「広島県女性活躍推進アドバイザー」へ講師を依頼した。(2名)	・交付金事業間連携、他施策との連携	○事業番号①-(2)企業向け女性活躍推進セミナーと当該事業の連続性をPRし、行動計画策定の着手に繋げた。
・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法	○前年度に当該事業を活用した行動計画の策定事例を紹介し、対象事業者の取り組みへの気運を高めた。 ○三原商工会議所、三原臨空商工会、広島県等と連携し、市内企業の積極的参加の呼びかけを行った。						
・連携地方公共団体及び具体的な連携方法	○広島県が認定・紹介する「広島県女性活躍推進アドバイザー」へ講師を依頼した。(2名)						
・交付金事業間連携、他施策との連携	○事業番号①-(2)企業向け女性活躍推進セミナーと当該事業の連続性をPRし、行動計画策定の着手に繋げた。						
5. 事業効果及び効果検証の概要	[実績] 派遣社数 2社 [効果] 2社が女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を策定した。 (1社は令和6年4月の策定を予定)						
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	目標には到達しなかったが、1社が女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を策定し、もう1社は会社都合により行動計画の策定に遅れが生じたが、令和6年4月中の計画策定を予定している。						
7. 今後の課題	事業番号①-(2)企業向け女性活躍推進セミナー参加企業を中心に呼びかけを行ったが、「重要性は理解しているが人手が不足して取り組む余地がない」との意見が多く聞かれた。当市が独自に実施した市内企業へのアンケートでは、中小企業や小規模事業所の多くが新規採用等に非常に苦労している実情があることから、関係団体と協力し、「女性が働きやすい環境づくり」は勿論のこと「人手不足解消に向けた経営改善」等の観点からも営業活動を推進することで本事業の周知に努めたい。						

注1)「3. 総事業費」の内容については、別途、単価、員数、日数等が分かる積算資料を添付してください。

注2) 本様式はA4で2枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。

地域女性活躍推進交付金実績報告書(市町村分) 個別事業

市町村名:広島県三原市

事業番号	③
1. 個別事業名	女性デジタル人材育成事業
2. 実施期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日
3. 総事業費	2,076,800円
4. 事業内容	主に子育て期等にある就労を希望する女性を対象に、専門講師による「テレワークスキルアップ講座」を開催した。オンラインで働くための基礎知識や、実務で使用するデジタルツールの操作スキルを学んだ。 また、当該専門講師のネットワーク等により、就労の機会の提供まで一体となった支援を行った。 ○講座の内容 コース① パワーポイント講座 ・第1回 基礎1(11月14日) - 画面構成、スライドサイズ、画像の挿入、図形の挿入と編集 ・第2回 基礎2(11月21日) - グラフ作成と編集、表の挿入と編集、テーブルデザイン、スライドマスター ・第3回 応用(11月28日) - 画像の編集加工、アイコン・イラストの活用、ハイパーリンク、アニメーション設定 ・第4回 実践(12月5日) - 資料作成の基本、デザイン、レイアウト、課題発表 コース② オンラインお仕事講座 ・第1回 基礎講座(12月1日) - 必要な機器と通信環境、Zoomの使い方とマナー、チャット/ドライブの使用、オンオフの切り替えと情報管理 ・第2回 エクセル講座1(12月8日) - ワークシートの基本操作、効率的なデータ入力、関数、グラフの基本・編集 ・第3回 エクセル講座2(12月15日) - 表作成・表計算の実践、ウィンドウ枠の固定、検索と置換、データの並べ替え ・第4回 リサーチ実践講座(12月22日) - 実際のクライアントワーク、受託から納品までの流れ、実際のお仕事の事例、リサーチ業務の実践 コース③ Instagram運用担当者育成講座 ・第1回 インプット編1(1月16日) - WEB/SNSの利用シーン、SNS媒体ごとの特徴、指標、競合分析 ・第2回 インプット編2(1月23日) - 目標設定、フィード/ストーリーズ/リール、目的に沿った投稿作り ・第3回 アウトプット編1(1月30日) - アカウント分析、投稿分析、ワークショップ ・第4回 アウトプット編2(2月6日) - 投稿制作/投稿計画、投稿ジャンル、投稿コンセプト、ワークショップ ○就労・起業へのつなぎ 当該運営及び講師の受託事業者が、希望者に対し、雇用や業務委託の形態等により実際に就労機会の提供を行えるよう支援を行った。
	・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法 ○三原公共職業安定所との連携により、女性求職者への周知を行った。 ○市と㈱まちづくり三原で開催する「スタートアップ創出シティカレッジ」を紹介し、創業・起業に関する女性の意識醸成を図った。
	・連携地方公共団体及び具体的な連携方法 ○広島県の雇用担当課へ当該事業の案内を行い、イベント情報等に関する周知を適宜行った。
	・交付金事業間連携、他施策との連携 ○事業番号①-(1)、(3)の女性就労支援事業との親和性をPRして参加者の増加に努めた。
5. 事業効果及び効果検証の概要	[実績] テレワークスキルアップ講座(3講座×各4回＝全12回) 講座参加女性 38人 [効果] 講座参加者のうち、就労を希望した9人(全て)の女性が就労を実現した。
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	目標値には到達しなかったが、9人の女性が就労を実現した。本事業のスキームはテレワークスキルを学ぶ講座を受講後に、希望者に対して専門講師のネットワークにより就労機会の提供を一体的に行うものであったが、希望した9名全てに就労機会の提供を行うことができたことは一定の成果があったものとする。
7. 今後の課題	本事業では希望者に対して専門講師のネットワークにより就労機会の提供を行うことが可能にも関わらず目標値を達成することができなかった。就労機会の提供を望まない理由として「自らのPCスキルが不足しているため」、「今の生活と両立できるか不安だから」、「どんな仕事があるかわからないから」が大半を占めた。 このため、座学のみにとどまらず、実際にテレワークで働いている先輩女性の話の聞いたり、質問できる体制を講座内に整えることで、不安を払拭し、就労に対して前向きになれるような支援策を検討していきたい。

注1)「3. 総事業費」の内容については、別途、単価、員数、日数等が分かる積算資料を添付してください。

注2)本様式はA4で2枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。